

◆実践問題13◆

〔伊勢〕という女流歌人が、貧しさから救われるようにと太秦の広隆寺に籠って仏道修行をした。そして歌を詠んだところ……。)

3 = (広隆寺)の仏

その夜の暁の夢に、貴き僧のおはしまして、〔汝〕

が歌の身にしみておぼしめさるれば、世に有りつ

べきほどのこと侍るべし。この暁、急ぎまかり出

でね。もし道にて思はざること侍るとも、いなぶ

心あるべからずと、おっしゃるのを見つ。あはれ

かたじけなく覚えて、まかり出でぬ。

何となく苦しきままに、ある旧き堂の人もなく

て侍りけるに立ち入りて、仏拝み奉らむとする程

に、輿、馬に乗りつれて、ゆゆしげなる人の通り侍

りけるが、何とか思ひ侍りけむ、この堂に入り侍

1回目
2回目
3回目
4回目
5回目

れば、〔伊勢〕すべきかたなくて、後ろの方へ行き侍

るに、この中のあるじとおぼしき僧の追ひ来て、

「かやうのこと、申すについて憚り侍れども、〔仏〕

の御告げ侍りて申すなむ。〔我が住むかたさまをも

御覧ぜられ侍れかし〕と、ねんごろに聞こえ侍れ

ば、これをたがへむ事、〔仏のおぼしめさむも恐ろ

しく覚え侍るままに、なびきにけり。